

研修を積み重ねて、 絶えず前進する私立小学校

学校と連携した父母の会活動

子どもたちのために学校と協力

(1面から続く)

児玉 重永会長、私学の教育を展開し、学校選の教育においても、教育活動の要は教職員だと思活動の要は教職員だと思います。曰私小連としては、私立小学校教職員の教える力を増すために、どのような研修活動をしておられますか。

黒木 私どもは教員研修を重視して全国規模や地区ごとにも実施しています。初任者研修から中堅教員研修など、年に何度も開いて実践交流や授業研究を重ねています。この研修会の熱気も私立学校の伝統です。少子化の中でも私立小学校が増えているのは、研修を積み重ねて、私立小学校が絶えず前進しているからだと思えます。令和5年度には私立小学校は244校を数え、この10年間で27校も増えました。この期待に応えて、特色あ

る教育を展開し、学校選択の自由を提供していると考えています。私立小学校はコロナ禍においても、初期からオンラインツールを使って児童の家庭学習を支援しました。公立と違い、ICT環境を早くから整備してしましたので積極的にオンライン学習支援に取り組むことができました。どうぞ、私立小学校を信頼して、相談会や説明会にお出かけいただき、私立小学校受験にチャレンジしていただきたいと思えます。

児玉 夏季研修には全国から千人を超える先生方が集まりますね。西南学院小学校の研修はどのような形で行われていますか。

黒木 教師自身が常に学び続けていると子どもたちに確かで深い良質な教育はできないという考えから、教職員の研修体制を整えています。校内だけでなく、曰私小連の研修会で全国の私学の先生方と学ばせていただくことで刺激を受け、大きな力が与えられています。

児玉 続けてお聞きしたいのですが、学校の安全確保として取り組んでいますか。

黒木 本学院は歴史が長く、地域の方々にも愛され見守られています。また、見守りシステムやメール配信などを整備し、警備員も常駐しています。登下校時には教職員が順番で通学路に立ち、安全指導を行っています。

児玉 重永会長、東京の私立小学校としての危機管理の取り組みはいかがでしょうか。

黒木 本学院は歴史が長く、地域の方々にも愛され見守られています。また、見守りシステムやメール配信などを整備し、警備員も常駐しています。登下校時には教職員が順番で通学路に立ち、安全指導を行っています。

池田 共働きの増加しているというのは、社会の風潮でもあります。私は決して悪いことではないと考えています。父母の会もこれまでは主に母様方で構成されていましたが、男性の参加が増えています。この傾向はこころ、6年ほどで顕著になってきました。

池田 共働きの増加しているというのは、社会の風潮でもあります。私は決して悪いことではないと考えています。父母の会もこれまでは主に母様方で構成されていましたが、男性の参加が増えています。この傾向はこころ、6年ほどで顕著になってきました。

池田 共働きの増加しているというのは、社会の風潮でもあります。私は決して悪いことではないと考えています。父母の会もこれまでは主に母様方で構成されていましたが、男性の参加が増えています。この傾向はこころ、6年ほどで顕著になってきました。

池田 共働きの増加しているというのは、社会の風潮でもあります。私は決して悪いことではないと考えています。父母の会もこれまでは主に母様方で構成されていましたが、男性の参加が増えています。この傾向はこころ、6年ほどで顕著になってきました。

池田 共働きの増加しているというのは、社会の風潮でもあります。私は決して悪いことではないと考えています。父母の会もこれまでは主に母様方で構成されていましたが、男性の参加が増えています。この傾向はこころ、6年ほどで顕著になってきました。

池田 共働きの増加しているというのは、社会の風潮でもあります。私は決して悪いことではないと考えています。父母の会もこれまでは主に母様方で構成されていましたが、男性の参加が増えています。この傾向はこころ、6年ほどで顕著になってきました。

池田 共働きの増加しているというのは、社会の風潮でもあります。私は決して悪いことではないと考えています。父母の会もこれまでは主に母様方で構成されていましたが、男性の参加が増えています。この傾向はこころ、6年ほどで顕著になってきました。

池田 共働きの増加しているというのは、社会の風潮でもあります。私は決して悪いことではないと考えています。父母の会もこれまでは主に母様方で構成されていましたが、男性の参加が増えています。この傾向はこころ、6年ほどで顕著になってきました。

池田 共働きの増加しているというのは、社会の風潮でもあります。私は決して悪いことではないと考えています。父母の会もこれまでは主に母様方で構成されていましたが、男性の参加が増えています。この傾向はこころ、6年ほどで顕著になってきました。

池田 共働きの増加しているというのは、社会の風潮でもあります。私は決して悪いことではないと考えています。父母の会もこれまでは主に母様方で構成されていましたが、男性の参加が増えています。この傾向はこころ、6年ほどで顕著になってきました。

ると感じます。

PTAや父母の会の活動は個々の活動ではなく、学校との連携の中で行われています。教職員の皆様だけでは手が回らない範囲をサポートするような考え方は、私立の場合、学校と協力して子どもたちのために何かお手伝いしたいという意識が強い保護者が多いようです。入学された際には、ぜひ一緒に協力していただけると良い経験になるかと思えます。

児玉 父母の会の活動も時代に合わせて変化していますね。重永会長、私立小学校で学んだ経験というのは、その子の人生にどのような良さを与えてくださるでしょうか。

重永 幼児を入学試験で選抜することに疑問の意見もありますが、それは偏見です。入試に取り組むことは子どもの成長と発達を健全に伸ばします。楽しみながら受験できる問題を作っています。

池田会長もおっしゃいましたように、密度の濃い人間関係ができます。また私立小学校の保護者や教員は意識が高い方ばかりですから、自ずと生

まれてくる良い雰囲気教育環境があります。どうぞ私立小学校を信頼して入学していただきたいと思えます。

教育を提供したいという思いが連動して、確かな学びの場がつけられていくのも私学ならではの強みではないでしょうか。

また、卒業生の愛校心が強く、学校が大切にしているスピリットを子どもたちと共有しながら成長をあたたく見守ってくださることも私学の強みです。

本学院の卒業生には、アフガニスタンに貢献された医師の中村哲先生がいらっしやいます。毎年、学院の建学の精神を具現化された先生が

「皆さんは、希望の光です」と子どもたちに伝えていますが、子どもたちが置かれた場所であたたかな光を放つ存在「地の塩、世の光」となることを願って、一人ひとりを大切に愛情を注ぎ、日々の教育活動を行っています。

少子化が問題となっていますが、少子化だからこそ、私学で学ばせたいと思われる方も増えてくるのではないかと考えています。

少子化を乗り越えていくために 私立小学校が果たす役割は大きい

児玉 黒木先生は教育現場を担われる立場で小学校段階から私学で学ぶ魅力をお話とすればどんな点がございませうか。

黒木 保護者の皆様

また、卒業生の愛校心が強く、学校が大切にしているスピリットを子どもたちと共有しながら成長をあたたく見守ってくださることも私学の強みです。

本学院の卒業生には、アフガニスタンに貢献された医師の中村哲先生がいらっしやいます。毎年、学院の建学の精神を具現化された先生が

「皆さんは、希望の光です」と子どもたちに伝えていますが、子どもたちが置かれた場所であたたかな光を放つ存在「地の塩、世の光」となることを願って、一人ひとりを大切に愛情を注ぎ、日々の教育活動を行っています。

少子化が問題となっていますが、少子化だからこそ、私学で学ばせたいと思われる方も増えてくるのではないかと考えています。

黒木先生より少子化のお話がありましたが、重永会長、昨年の出生者数は80万人を切りました。予想より10年早い少子化の流れだそうです。私学として、少子化にどのように対応しているか。

重永 現在の少子化は人類史的課題といえるほど深刻です。少子化を乗り越えていくために私立小学校が果たす役割は大

きいといえます。私立小学校に通うことの素晴らしさや、保護者と教員が手をとりあって子育てすることの充実感、楽しく成長できる授業・行事について社会全体に周知できれば、子どもを産み育てようという流れにつながると思います。

そのためには私立小学校に対する偏見を取り除く必要があります。私立小学校は裕福な家庭のためだけではないということ、縁故がなくても入学でき、入試問題の内容は子どもの成長を促すということ。私立小学校に通うことで、子育てが楽しくなると社会に広めるために今後とも頑張りたいと思います。

児玉 本日は、私立小学校の魅力について語っていただきありがとうございました。

私学は一つ